

▼ヤーボイ点滴静注液 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 イピリムマブ (遺伝子組換え) Ipilimumab (Genetical Recombination) 【分類】 抗悪性腫瘍剤 [ヒト型抗ヒトCTLA-4モノクローナル抗体・悪性黒色腫治療薬]

【単位】 ▼50mg/V [10mL]

【常用量】 1回 3mg/kg を 3週間間隔で 4回

【用法】 90分かけて点滴静注 ■生食または5%ブドウ糖注で希釈

【透析患者への投与方法】 腎機能はPKに影響しない (1)

【保存期 CKD患者への投与方法】 腎機能はPKに影響しない (1)

【特徴】 ヒト細胞傷害性Tリンパ球抗原-4 (CTLA-4) に対するヒト型抗ヒトCTLA-4モノクローナル抗体。活性化T細胞における抑制的調節を遮断し、腫瘍抗原特異的なT細胞の増殖、活性化及び細胞傷害活性の増強により腫瘍増殖を抑制する。TregのCTLA-4にも結合し機能を低下させ、ADCC活性誘導によりTregの除去をもたらす。

【主な副作用・毒性】 大腸炎、消化管穿孔、重度の下痢、肝障害、皮膚障害、下垂体機能低下症、副腎不全、末梢神経障害、腎障害、Infusion reaction、間質性肺炎、甲状腺機能亢進症、消化器症状など多数

【安全性に関する情報】

【代謝】 ペプチド、アミノ酸に分解 (1)

【排泄】 イムノグロブリンの代謝排泄経路をたどると推定 (5)

【CL】 13.8mL/hr [iv] (1)

【t1/2】 17日 (1) 359hr (Weber JS, et al: J Clin Oncol 26: 5950-6, 2008 PMID: 19018089)

【蛋白結合率】 資料なし (1)

【Vd】 5.88L/man [iv] (1)

【MW】 145,389.43

【透析性】 透析されない (5) 資料なし (1)

【薬物動態】 体格に応じた用量設定が適切 (Feng Y, et al: Br J Clin Pharmacol 78: 106-17, 2014 PMID: 24433434) 定常状態のトラップ濃度と臨床効果が関連している (Feng Y, et al: Clin Cancer Res 19: 3977-86, 2013 PMID: 23741070)

【OW係数】 該当しない (1)

【主な臨床報告】 メラノーマに対する各種抗がん剤との併用療法における phase-I 試験 (Weber J, et al: Cancer Immun 13:7, 2013 PMID: 23833564)

NSCLC に対するパクリタキセルとカルボプラチンへの併用による phase I 試験 (Horinouchi H, et al: Invest New Drugs 33: 881-9, 2015 PMID: 25924991)

RCC に対してニボルマブ併用治療において、スニチニブよりも良好な成績 (Motzer RJ, et al: N Engl J Med 2018 PMID: 29562145)

【更新日】 20211206

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。